

令和2年度第1回鳳来南部地域協議会 会議録

日 時	令和2年6月29日（月） 午後7時30分～午後8時35分
場 所	黄柳野ヴィレッジ（旧黄柳野小学校）
出席者	委員20名（欠席者0名）、事務局6名
傍聴人数	1名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 地域協議会会長 企画部長 担当者紹介 2 説明事項 （1）新城市地域自治区制度について （2）地域活動交付金事業について 3 議 事 （1）地域活動交付金について ①審査会について （2）追加募集について 4 その他 （1）第2回鳳来南部地域協議会（地域活動交付金採択審査会）について 5 アンケートについて
会議内容	
<p>開会</p> <p>1 あいさつ</p> <p>星野会長：コロナウイルスの関係でなかなか地域協議会が開催できなかった。今回の会議も1時間程度を目処に実施する。</p> <p>三浦部長：市長より、2点地域協議会の皆さんに伝言を預かっている。1点目は、新型コロナウイルスの関係で、委嘱辞令を直接渡せず、郵送での配布となったことについて、ご理解いただきたいということ。2点目は、地区の集まりなどどうしたらいいかと市へも問い合わせをいただくことが多かったが、地域においてご対応いただいていることに感謝を申しあげること。</p> <p>○職員紹介 所長⇒課長⇒部長⇒参事⇒川合主任⇒請井副参事</p> <p>○委員自己紹介 森島留廣委員から順に肥田芳博委員まで事務局から紹介</p> <p>○議事録署名人 会長より、名簿の順に指名することを伝え、小出价子委員、小出一之委員を選出。</p> <p>2 説明事項 （1）新城市地域自治区制度について</p>	

事務局より、パンフレット「住みよいまちへ」により地域自治区制度の説明、新委員については、地域計画について資料により説明。

《質疑応答》

なし

(2) 地域活動交付金事業について

事務局より、パンフレット「住みよいまちへ」と資料により説明。

《質疑応答》

なし

3 議事

(1) 地域活動交付金について

審査会について、資料により事務局より説明後、ア傍聴人の定員、イ発表・質疑等の時間、ウ審査結果取りまとめについて、エ申請団体に関係する委員の扱いについて検討した。

《質疑応答》

(委員) 委員の中で申請団体の構成員は審査しないと点数が減るということではないのか。

(事務局) 平均点とするため、問題ない。

ア. 傍聴人の定員

会長より、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるため、発表団体には1名か2名の出席とすることを事前に通知し、発表待ちの団体の方達は審査会場の隣の広間で待機していただく提案があった。

《採決》

傍聴人の制限を設け、10名とするか5名とするかについて採決を行った

結果：賛成多数により、傍聴人の制限を設け、5名以下とすることになった。

《質疑応答（採決後）》

(委員) 傍聴人を5名とすると、申請団体は3つのため、2名ずつとしても6名が適当ではないのか。

(会長) 発表団体は出番が来るまで隣の広間で待機するため問題ない。

イ. 発表・質疑等の時間

《採決》

前回同様に発表7分、質疑10分、採点・入替3分とするかの採決を行った。

結果：賛成対数により、発表7分、質疑10分、採点・入替3分とすることになった。

《質疑応答》

特になし。

ウ. 審査結果取りまとめについて

《採決》

公開とするか非公開とするか採決を行った。

結果：賛成多数により、非公開とすることになった。

《質疑応答》

特になし。

エ. 申請団体に関する委員の扱いについて

《採決》

申請者、構成員の委員は審査するかどうかについて採決を行った。

結果：賛成多数により、申請者、構成員は審査しないこととなった。

《質疑応答》

特になし。

《採決》

結果取りまとめの際、申請者、構成員の委員は、参加するかどうかについて採決を行った。

結果：賛成多数により、申請者、構成員の委員は結果取りまとめに参加しないことになった。(取りまとめ時に同席するが発言はしない。)

(2) 追加募集について

《採決》

今回申請された3事業すべてが採択された場合、残額が781千円となる。追加募集をするかどうかについて審議した。

結果：賛成多数により追加募集はしないことになった。

《質疑応答》

(委員) 追加募集をしないということになった場合、残額はどうなるのか。

(部長) 予算額は上限額と考えていただきたい。基金を取り崩しているが、必要な額を取り崩すということである。

(委員) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、追加募集はしない方がよい。

(委員) 年度当初は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況で、活動を自粛した団体もあったと思う。活動を考えている団体があれば、(追加募集して)出てきてもらいたいと思う。例えば、イベント性のあるものはやめて、物を買うだけとか作るだけというものはいいと思う。来年も新型コロナウイルスは流行る可能性があるが、やめるだけでなくしっかりと議論した方がよい。

(委員) 今年度予算を残しても、来年度の予算は同じような積算方法で予算化されるのか。

(事務局) その通りである。

(所長) 万が一イベント性のある申請が来たらどうするのか。

(会長) そういった詳細は、今回の審査会のあとの協議会で決定する。

(所長) どういった事業がいいか悪いかを含めて話し合わないと追加募集をするかしないか決められないのではないか。

(委員) 市としての方針はないのか。

(所長) 地域協議会で決定していただきたい。

(委員) 追加募集するというなら、どんな事業を受け付けるか議論できるが、追加募集しないということなら考えなくてもよい。また、年度当初は自粛したが、今はやりたいという団体もあると思えば追加募集する方がよいのではないか。

(委員) 追加募集する場合、(かなりタイトなスケジュールとなるので) 時間がないのではないか。

(会長) そういったスケジュールなどの詳細も審査会後の地域協議会で議論したい。

(事務局) 本日の地域協議会で追加募集については決定せず、審査会終了後の地域協議会において決定することとし、それまで各々このことについてよく考えていただいてはどうか。

(委員) 考えても結論は同じではないか。

※事務局より、全委員に追加募集をするかどうかについて考えが固まっているか確認し、会長が追加募集についての採決を行った。

4 その他

(1) 第2回鳳来南部地域協議会(地域活動交付金採択審査会)について

日時 令和2年7月13日(月)19時から

場所 黄柳野ヴィレッジ(旧黄柳野小学校 ランチルーム)

事務所長のあいさつで閉会(20時35分)